

令和7年度事業計画

1. 事業目標

(1) まほろばの里

2040（R22年）に向けて要介護・要支援と認定される高齢者が増加し、介護需要は増加する一方で、支え手である介護職員は大きく減少すると考えられています。そこで、可能な限り地域で自分らしく暮らしていただくために、介護度の維持・改善に取り組むとともに、認知症の人やそのご家族様の視点に立った支援を推進します。また、介護ロボットの導入などを検討し、介護職員の負担を軽減し働きやすいと感じる職場づくりを目指します。

① 特別養護老人ホーム

利用者様の立場になりその気持ちを汲み取った支援とケアを提供し、利用者様とご家族様に満足していただけるように努めます。そのためにも、介護職員間や各部署間で連携と意見交換しやすい組織風土を目指します。

人材育成にも力を入れ、それぞれが知識と技術の向上を図り、またそれを共有していくことでお互いを高め合っていきます。

② デイサービス

<通所介護>

一日の始まりに選択できる複数のメニューをご提案しますので、利用者様にお選びいただきます。「やらされる」よりも自分の意思で「する」と決め、それを成し遂げた時に得られる満足感や達成感は格別であることを感じていただくためです。私たち職員はご利用者様にその感覚を味わっていただくために充実した機器と極上のリラクゼーションをご用意したうえで、心身共に生き生きしていただけるサービスの提供に最大限の努力を致します。おもてなし精神を忘れずに利用者様ファーストに徹します。

<認知症対応型通所介護>

認知症の利用者様が安心して過ごせる環境を提供し、心身の健康維持と生活の質の向上の支援に努めます。少人数制を活かし一人ひとりの状態に合わせた支援を提供するとともに尊厳を大切にし、その人らしい暮らしを支えるために専門的なケアを実践します。

また、ご家族様の介護負担軽減にも積極的に取り組み、定期的な相談や介護知識の提供などを行い、精神的な支えとなれるように努めます。

③ グループホーム

利用者様のADL、QOLの向上のため、レクリエーションや散歩、体操を取り入れ、認知症の進行予防に取り組むとともに、日頃から利用者様とのコミュニケーションを密に図り、顔馴染みの利用者様や職員に囲まれて安心して生活していただけるように努めていきます。

また、ご家族様の想いを日々のケアに反映できるように職員間で共有します。

④ 在宅介護支援センター

利用者様やご家族様が安心した介護を受けながら在宅生活が継続できるように総合的かつ効率的にケアマネジメントを行います。

多様化するニーズや困難事例にも対応していけるように、研修や勉強会に参加し自己研鑽を図ります。

稼働率を上げていけるように取り組んでいきます。

(2) みそら

児童発達支援・放課後等デイサービス

利用者確保に努め、安定した事業運営ができるように、利用率の向上を目指します。そのために、子どもたち及びご家族様のニーズを敏感に把握し、事業所のプログラムに反映できるように、より丁寧なコミュニケーションを心掛けます。

子どもたちやご家族様がより安心して事業所を利用できるように、丁寧な環境整備に努め、また職員間でヒヤリハットの共有を徹底し、支援の質の向上を目指します。

職員全体でさらに発達の遅れや発達障害の知識を取得し理解を深め、子どもたち一人ひとりの発達支援のために、有効なプログラムを検討し提供します。

2. 各事業別目標稼働率

(1) まほろばの里

特養	97%	ショートステイ	95%
デイ（一般）	90%	デイ（認知症対応型）	90%
グループホーム	98%	居宅介護支援	85%

(2) みそら

児童発達支援・放課後等デイサービス 90%

3. 月別行事予定（感染症の発生状況を踏まえたうえで、実施の可否を決定する。）

- 4月 お花見
- 5月 子供の日・母の日・石海小学校運動会
- 6月 父の日・紫陽花見物
- 7月 七夕・夏祭り（事業所単位で実施）
- 8月 そうめん流し
- 9月 お月見・敬老の日
- 10月 秋季例祭
- 11月 菊花展観賞・ドライブ
- 12月 クリスマス会（事業所単位で実施）餅つき
- 1月 初詣・新年行事
- 2月 節分（豆まき）・梅見
- 3月 おひなまつり

4. 定例行事

お誕生会、外食（又はテイクアウト）、音楽レクリエーション、ヨガ教室、ドライブ

5. ボランティア協力行事

ボランティア行事は、各部署で慎重に検討する。

6. 理事会・評議員会開催予定

- 令和7年6月 決算・役員改選他
- 令和8年1月 補正予算他
- 令和8年3月 次年度予算他

*上記の他に必要に応じ随時開催